





なく、‘神の子’でもありませんでしたが、メシアであり、大なる神の言者の一人だったのです。イエスは人々にし、彼自身を崇めるようには命じませんでした。には彼自身が崇めているものと同じ神への崇を呼びかけたのです。また彼は言者モゼがいたトラの律法をし、自身もその法に合った人生を生き、ユダヤ人たちが手に法としたものを合法として正した、弟子たちにしてもそれに忠にうよう指示しました。そしてイエスは昇天の前、彼の弟子たちにして最の言者であるアラブ人ムハンマドについて予告し、彼の教えをめるよう指示しているのです。

イエスの昇天から何世代もった、彼の教えは歪曲され、彼の存在は神の地位にまで高められてしまいました。しかしそれから6世がきた、言者ムハンマドの登によってイエスキリストにする真は最的に正され、そしてそれは最の典であるクルアーンに永久保存されたのです。更にイエスがっていたモゼの律法の多くはそので完全な形を保ったまま活し、イスラムすなわち神によって定められた生き方として施行されたのです。同にそれ以前の言者からもたらされた法は、和されたり止されたりしました。

って言者の真性と彼らのいた同一の教え、更に彼らがった生き方は、神が人に定めた唯一の宗教であるイスラムによってのみ持され、かつ出すことが出来るのです。そしてそれは在、ムスリムだけがイエスと彼の真の教えにっているという事を浮きりにします。ムスリムはイエスが践した生き方において、今日のキリスト教徒が践している生き方よりもより忠に追していると言うことが出来ます。またイエスキリストへの敬はイスラムにおける信仰条の一つに数えられており、また神はクルアーンのあちこちに登するイエスへの信念の重要性をししています。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/29>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006-2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。